

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121122				
事務事業名	美麻支所一般管理経費				会計	一般会計					
まちのテーマ					款	2	項	1	目	12	
施策目標											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	美麻支所の管理
事業の目的	適正な事務事業の執行
事業内容	庁舎管理、事務機器保守等

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	10,212 千円	10,250 千円	10,816 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	10,212 千円	10,250 千円	10,816 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複あり	普通	適正である
点数	2	2	2	1	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	12	美麻支所の管理のために必要な経費であるが、経常経費の削減に努めている。				
		18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121123				
事務事業名	美麻支所車両管理経費				会計	一般会計					
まちのテーマ					款	2	項	1	目	12	
施策目標											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
美麻支所所有の車両管理

事業の目的
適正な事務事業の執行

事業内容
車両管理

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	294千円	444千円	243千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	294千円	444千円	243千円

活動指標	指標名	単位	平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複あり	普通	改善の余地あり
点数	2	2	2	1	2	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	美麻支所所有車両の管理のため必要な経費であるが、経常経費の削減に努めている。				
	11					
	18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121125
事務事業名	美麻地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	地域の一体感の早期確立、移り住む人をやさしく受け入れるまち ほか						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画	大町市過疎地域自立促進計画			16~18 頁
事業期間	平成 22 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進特別措置法			

事業の概要
 附属機関である美麻づくり委員会の運営。大町市過疎地域自立促進計画に基づく過疎地域自立促進特別事業の実施

事業の目的
 持続可能な地域社会の形成。個性豊かで魅力あふれる地域社会の実現

事業内容
 美麻地域づくり会議を運営し、市民の声を市政に反映している。過疎地域における振興策として、定住促進奨励金（空き家有効活用）、住宅新築資金等利子補給金、就職促進奨励金、起業支援事業補助金、起業育成支援事業補助金の支出などを行なっている。また、地域づくり分野の住民活動グループで構成する「美麻地域づくり会議」に補助金を交付することにより、地域づくり活動を支援している。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,907 千円	11,047 千円	9,565 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	8,907 千円	11,047 千円	9,565 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 住宅新築等利子補給	世帯	1	1	1	2	50.0%	2
② 就業支援	人		1	1	1	100.0%	2
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 定住人口の増加	人		9	5	10	50.0%	4
② 産業の創出	事業		1	1	1	100.0%	2
③ 交流人口	人	2,100	2,050	1,800	2,000	90.0%	400

2. 数値で表せない効果
 （指標）
 美麻地域づくり会議を支援することにより、地域づくり活動が継続されている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 定住促進奨励金（空き家有効活用）等の制度は、合併後10年間の時限措置であり、平成28年3月31日をもって終了する。
 美麻地域づくり会議の活動支援も含め、市民の一体感の醸成と自立促進を同時に図っていく必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複あり	普通	改善の余地あり	
点数	3	3	3	1	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域づくり委員会については、今後も適正な運営を図っていく。 地域づくり会議への補助金交付方針については、過疎計画を所管する企画財政課と調整を図っていくが、自立促進につながるより効果的な事業の選択と運営を促していく。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121126
事務事業名	メンドシーノ交流事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	項	目
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画	大町市過疎地域自立促進計画			17
事業期間	平成	4	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進特別措置法

事業の概要
 1980年の芸術交流が基となり、旧美麻村とアメリカメンドシーノとの間で締結した国際姉妹都市を、市村合併に際して大町市が継承。平成4年以降、小学生を中心とした訪問団の相互派遣事業を隔年で実施している。交流事業は、実行委員会とボランティアグループが積極的に関わり、企画・運営されている。

事業の目的
 将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身に付け、積極性を養う機会とすることが期待されている。また、事業を通じ、子どもから高齢者までが参画し、市民レベルでの国際交流を推進することで、地域活性化に寄与する。

事業内容
 訪問団の受入又は派遣（隔年）
 ・負担金：受入時 700千円、派遣時 2,700千円
 ・旅費：派遣時 約900千円

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	3,465千円	700千円	3,527千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	3,465千円	700千円	3,527千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 受入人数	人	23	23	—	—	18
	② 派遣人数	人	34	30	30	100.0%	—
	③						

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 交流事業参加者	人	445	445	445	—	—	450
② ホストファミリー	件	12	12	12	—	—	12
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）事業に参加した児童の国際ボランティア活動が広がりを見せている。また、自治体国際化協会の姉妹自治体優良事例に選定されるなど、実績も認められてきている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 航空運賃の燃油税が上昇したことから、メンドシーノでの宿泊を全泊ホームステイにするなど、経費削減に努めている。随行ボランティアやホストファミリーの広域化も進み、協力者が増加してきている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	17	交流事業の全市的な拡大や、新たな交流への発展、他のまちづくり事業との連携などを旨とする。				
		18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	1211212
事務事業名	美麻定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
定住促進住宅の整備

事業の目的
住宅の整備により定住を促進し、人口増をはかる。

事業内容
平成25年度 桜台団地 住宅3棟建設 湯の海団地2棟リフォーム
平成27年度 新行地区 3棟用地買収、造成工事
平成28年度 新行地区 3棟建設予定

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,082 千円	52,353 千円	183 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	1,082 千円	52,353 千円	183 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （％）	次年度（H27） 目標値
①	定住促進住宅建設	棟		5		—	—	—
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （％）	次年度（H27） 目標値
①	住宅入居者数		17	17	—	—	—
②							
③							

2. 数値で表せない効果
（指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通
点数	3	2	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	平成27年度 新行地区 3棟用地買収、造成工事 平成28年度 新行地区 3棟建設予定				
	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16123
事務事業名	美麻地籍調査事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち				款	6	項 1 目 2
施策目標	均衡ある発展をめざした土地利用の推進						
後期計画掲載頁	86	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 15 年	～	平成 35 年	根拠法令・要綱等 国土調査法			

事業の概要
一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。

事業の目的
課税の適正化、公共事業の計画策定及び実施の円滑化等を目的として実施する。

事業内容
毎年10ha～20ha程度に区画し、計画的に実施。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	6,141 千円	4,696 千円	4,286 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	3,150 千円	2,055 千円	2,235 千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,991 千円	2,641 千円	2,051 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 新行1区	ha	10	/	/	—	—	—
② 新行2区	ha	10	10	10	10	100.0%	—
③ 大塩4区二重1区認証請求	箇所						1

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 新行1区	ha	10	/	/	—	—	—
② 新行2区	ha	10	10	10	10	100.0%	—
③ 大塩4区二重1区認証請求	箇所				—	—	1

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	美麻地区内の宅地及び農地を主として調査を行っている。あらゆる生産の基本的要素である土地の所有、利用関係を明らかにして地籍の明確化を図り、課税の適正化を目的としており必要性、有効性は高いと考える。また、市の財産である法定外公共物（赤線、青線）の明確化にも寄与する。今後は、未調査地区について計画的な調査を行うとともに調査済地区についての速やかな登記完了を最重点事項として事業を進める。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	161319
事務事業名	美麻農産物加工所管理事業					会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	6	項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	4	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
美麻農産物加工所の施設、設備等の経年劣化に伴う修繕、交換等を行う。
(平成26年 冷凍庫修繕)

事業の目的
美麻農産物加工所の施設、設備の適正な管理。

事業内容
施設の維持管理（委託・指定管理等）。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	609 千円	499 千円	196 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	609 千円	499 千円	196 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 美麻農産物加工所	箇所	1	1	1	1	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
(指標) 美麻農産物加工所の運営により、地域の雇用、地域の活性化に寄与。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	美麻農産物加工所の払い下げについて指定管理者と検討中である。				
	13	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16152
事務事業名	ふたえ市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	9	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農業従事者の高齢化等により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の活用を図るため、平成9年に「ふたえ市民農園」が開設された。
 全体面積4.5ha管理棟1棟（木造2階一部鉄骨615m²）・休憩施設付農園49棟（木造平屋一部ロフト約50m²）
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円（光熱水費別）

事業の目的
 ①豊かな自然に恵まれた地域資源を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。
 ②遊休荒廃農地の利用。

事業内容
 特定非営利活動法人 山里舎に委託料を支出し、ふたえ市民農園（管理棟1棟・休憩施設49棟）の管理を実施している。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	19,232 千円	19,320 千円	21,920 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	18,837 千円	22,036 千円	20,459 千円
	一般財源	395 千円	-2,716 千円	1,461 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	契約休憩施設数	棟	42	47	43	46	93.5%	42
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	休憩施設契約率	%	89	100	91	100	91.0%	85
②								
③								
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 定住促進係と連携し、休憩施設3棟を「お試し暮らし体験用」として利用している。
 （平成24年度2棟、平成26年度1棟 計3棟）
 11月22日に発生した長野県神城断層地震被災者の避難用としてラウベ4棟利用している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	ふたえ市民農園においては、開設から18年目となり、各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。 利用者の高齢化等により26年度末で9棟空き区画の発生が見られたが、現在は6棟の空き状況となった。関係機関と協力し空き区画の解消を図りたい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16153
事務事業名	おおしお市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	14	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農業従事者の高齢化等により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の活用を図るため、平成14年に「おおしお市民農園」が開設された。
 全体面積 1.7ha 管理棟1棟（木造平屋建205㎡）・休憩施設付農園36棟（木造平屋建50㎡/1棟）
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円（光熱水費別）

事業の目的
 都市住民等に「農業・土・自然」と親しむ場を提供し、都市と農村の住民交流を図ることにより、地域の振興と活性化に寄与する。

事業内容
 北アルプス広域シルバー人材センターに委託料を支出し、おおしお市民農園（管理棟1棟・休憩施設36棟）の管理を実施している。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	5,722 千円	5,413 千円	5,558 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源	13,098 千円	13,779 千円	13,212 千円
		一般財源	-7,376 千円	-8,366 千円	-7,654 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	契約休憩施設数	棟	34	32	33	34	97.1%	31
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	休憩施設契約率	%	94	91	91	94	96.8%	86
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 平成24年度から定住促進係と連携し、休憩施設1棟を「お試し暮らし体験用」として利用している。
 11月22日に発生した長野県神城断層地震被災者の避難用としてラウベ4棟利用している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	おおしお市民農園においては、開設から13年目となり各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。 利用者の高齢化等により26年度末で4棟空き区画の発生が見られたが、現在は3棟の空き状況となった。関係機関と協力し空き区画の解消を図りたい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16319
事務事業名	美麻市有林管理育成事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	6	項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興						
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	19	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
市有林の管理・育成

事業の目的
市有林箇所の草刈りや冬囲いをすることにより市有林の管理育成を行う。

事業内容
市有林について、毎年委託業務により草刈り冬囲い等、管理を行っている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	216 千円	203 千円	220 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	216 千円	203 千円	220 千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	植樹祭跡地	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0%	5,000
②	川手	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	植樹祭跡地	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0%	5,000
②	川手	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性					
	継続	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	評価点合計	市有林の管理をシルバー人材センター、川手地区に委託し地元住民により適正に管理されている。現状継続が望ましい。				
	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171311
事務事業名	美麻観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	2	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 静の桜公園、二重沢公園、青貝公園、麻の館の管理・運営

事業の目的
 各種観光施設の管理・運営

事業内容
 施設の維持管理（委託・指定管理等）

年度		平成24	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,298 千円	1,494 千円	5,691 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,298 千円	1,494 千円	5,691 千円

活動指標	指標名	単位	平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	観光施設管理	箇所	4	4	4	4	100.0%	4
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標①）市民の憩いの場である公園等の管理、環境整備を実施し、良好な公園環境を維持できている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 14 / 18	公園の管理（静の桜公園・二重沢公園・丸山公園・青貝農村公園）は、シルバー人材センターに委託しており、地元住民で管理を行っている。公園管理については、現状継続。				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171340
事務事業名	美麻温泉宿泊設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
温泉宿泊施設事業特別会計へ一般会計からの繰出金

事業の目的
ほかほかランド美麻・ほかほかランド美遊の管理・運営

事業内容
温泉宿泊施設事業特別会計へ一般会計からの繰出金

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	6,447 千円	22,129 千円	28,828 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	6,447 千円	22,129 千円	28,828 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	14	/ 18			

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18514
事務事業名	美麻住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
地域振興住宅の維持管理

事業の目的
定住促進ビジョンに合わせた「子育て世代」や「若者世代」をメインターゲットに過疎地域への定住促進と地域の活性化を図る。

事業内容
旭団地（平成12年度建設 低層耐火構造 8戸）
桜台団地（平成25年度建設 木造二階建 3戸）
川手住宅（昭和51年度建設 木造二階建 1戸）
湯の海団地（昭和51年度建設 平成25年リフォーム 木造平屋建 2戸）
計14戸の維持管理を実施

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	1,135 千円	9,453 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	3,869 千円
	一般財源	千円	1,135 千円	5,584 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （%）	次年度（H27） 目標値
①	定住促進住宅	棟	9	12	14	14	100.0%	14
②								
③								

1. 数値で表せる指標		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （%）	次年度（H27） 目標値
①	定住促進住宅契約	%	100	100	100	100	100.0%	100
②								
③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	建築年度の古い建物については各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	751121
事務事業名	美麻温泉宿泊施設管理費				会計	温泉宿泊施設事業特別会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	1	項 1 目 2
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	5	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	ほかほかランド美麻・ほかほかランド美遊の管理・運営（一般会計からの繰入金）								
事業の目的	施設、設備の適正な管理								
事業内容	施設の維持管理（指定管理） ・修繕費（露天風呂修繕307千円・美遊建具等修繕ほか1,657千円） ・手数料（温泉分析ほか304千円） ・委託料（美遊指定管理料2,160千円・ほか指定管理料ほか4,872千円） ・材料及び賃借料（美遊賃借料433千円） ・備品購入費（食器洗浄機1,166千円） ・補償補填及び賠償金（震災分2,175千円・漏湯分1,992千円）								
事業費	年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	総事業費（決算額）		千円		22,129 千円		15,068 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		千円		22,129 千円		15,068 千円			
活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	施設・設備維持管理	箇所	1	1	1	100.0%	1	
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①					—	—	—	
	②					—	—	—	
	③					—	—	—	
	2. 数値で表せない効果		（指標 ）地元の老人クラブ、自治会、等地域づくり会議等と連携し、様々な行事を実施。地域雇用も優先され、自主事業の内容も充実してきており、地域活性化に寄与している。						
※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	ほかほかランド美麻、及びほかほかランド美遊について、指定管理者制度による管理・運営が行われている。地域と連携した積極的自主事業等の実施により、集客はもちろん、地域活性化のひとつの拠点となるべく取り組む。 11月22日に発生した神城断層地震により、第4四半期は休館となってしまった。敷地内に新たに入浴施設を建設し28年度にはフルオープン予定だが、27年度はレストラン、売店のみの営業になってしまうため、さらなる経営努力が必要となる。					
	評価点合計	14 / 18					